



琴似

昨年から継続中の琴似商店街振興組合の皆さん

二年目を迎えたアダプト・プログラム。三カ所目は山の手小学校

アダプトとは？

西区では、市民参加型の新しい環境美化活動「アダプト・プログラム」を昨年五月にスタートさせました。アダプトとは、英語で「養子縁組する」という意味です。ボランティアとなる地元住民や企業が、道路や公園など一定の公共の場所を養子とみなして、定期的・継続的に清掃活動を行い、愛情を込めて面倒をみることから命名されました。

区での試みが初めてのものとなりました。

最初は琴似本通

昨年、五月三十日の「こみゼロの日」に、琴似商店街振興組合の皆さんが、その緑色のベストを着て、琴似本通を清掃しました。モデル事業のスタートです。活動に先立って商店街と区で覚え書きを交わしました。商店街側がごみを収集し、区が清掃用具の支給と集められたごみの回収を行うといったように、市民と行政が互いの役割分担を明確にしたのです。

宮の沢



町内会、企業、ちえりあが参加する宮の沢地区

琴似本通のアダプト・プログラムは、一定の成果を挙げ、地元でも評判になっています。

六月から宮の沢

今年、地下鉄宮の沢駅そばの西野屯田通（旧国道5号）二十四軒手稲通間の歩道部分約三百メートルを対象に、清掃が行われています。実施しているのは、宮の沢一条町内会と西町中の川町

山の手

学校前の歩道を清掃する山の手小6年生の児童



山の手小も開始

区内三方所目は、学校として初めて参加する山の手小学校です。同校はこれまでも琴似発寒川の清掃など、環境の問題に取り組んできました。十一月七日、初の一斉清掃で、学校前の歩道約百五十メートルのごみや落ち葉を集めたところ、家庭用ごみ袋十三袋分も集まりました。児童たちは「思ったよりごみが落ちていて驚いた」などと話していました。



西区では、今後も、区民の皆さんと協働して、アダプト・プログラムの実施地域を拡大していく予定です。

